Cat No. 08178-96

取　扱　説　明　書

分子生物学用

シカジーニアス DNA 抽出試薬 Cica Geneus DNA Extraction Reagent

1. はじめに

シカジーニアス DNA 抽出試薬は、分離培養した微生物試料からゲノム DNA を効率よく抽出するための試薬です。本試薬と試料を混合し、インキュベートするだけの簡単な操作で PCR 反応に使用可能なテンプレート DNA が調製できます。

本試薬はシカジーニアス遺伝子検査キットシリーズの前処理試薬として、使用することができます。

2. 製品形態

製品名	シカジーニアス DNA 抽出試薬 (Cica Geneus DNA Extraction Reagent)
製品番号	08178-96
容量	120 回分
保管温度	2－8 ℃

3. キットの構成

品名	容量・本数
試薬 a 液	1.2 ml × 1
試薬 b 液	12.0 ml × 1
取扱説明書	1 部

4. 原理

シカジーニアス DNA 抽出試薬は、培地や生体試料に由来する PCR 阻害物質の作用を抑制する働きがあるため、本試薬で抽出したゲノム DNA は、PCR 反応にそのまま使用可能です。本試薬は長期間保存できるように濃縮液として供給しており、使用直前 2 液を混合してお使い下さい。なお、本製品は消防法による危険物、毒物及び劇物取締法等に該当する有害な化合物を含んでおりません。

5. 適用範囲

液体培養や平板培養した微生物等

6. 試薬の準備

本試薬は使用する前にシカジーニアス DNA 抽出試薬の試薬 a 液および試薬 b を静かに転倒混和して下さい。
次いで、試薬 a、試薬 b を 1:10 の比率で混合し、DNA 抽出試薬混合液を調製して下さい(表 1)。

表 1. DNA 抽出混合液の調製例

検体数	試薬 a (μl)	試薬 b (μl)
1	10	100
11	110	1,100
22	220	2,200
33	330	3,300
120	1,200	12,000

7. 標準プロトコール (PCR 試料作製)

1) 先に調製した DNA 抽出試薬混合液をマイクロチューブに 100μl 入れます。
2) 菌液 10μl を上記マイクロチューブにいれ、軽く混合して下さい(注意事項の 1)、2)、3)参照)。
3) 72℃で 6 分間インキュベートします。
4) 94℃で 3 分間インキュベートします。
5) この反応液の上清をテンプレート DNA とします。

8. 使用上の注意事項

1) 液体培養の場合は、培養液の原液を菌液として使用して下さい。
2) 平板培養の場合は、コロニーを滅菌水にマクファーランド比濁法を用いて濁度標準液 第 1～3 番程度となるように懸濁したものを菌液として調製して下さい。
3) 平板培養の場合で釣菌したコロニーを DNA 抽出試薬混合液に直接懸濁させる場合は、ごく少量の菌を掻き取り、DNA 抽出試薬混合液に懸濁して下さい。菌濃度は濃すぎないようにご注意下さい。
4) 標準プロトコールにてゲノム DNA が抽出できない場合は、72℃のインキュベート時間を延長する(例えば 72℃で 20 分間、94℃で 3 分間など)ことで改善されることがあります。
5) DNA 抽出液に不溶物が含まれる場合は、遠心分離し(約 15,000rpm、 1 分間)、その上清をご使用下さい。
6) 少量の試料でゲノム DNA 抽出を行う場合は、添加する DNA 抽出混合液を適宜減量して下さい。
7) DNA 抽出後の試料は使用まで冷蔵で保存し、早めにご使用下さい。また、直ちに使用しない場合は、冷凍(-20℃)にて保管して下さい。
8) 本製品は試験研究用としてご使用下さい。研究目的以外の用途には使用しないで下さい。

関東化学株式会社
試薬事業本部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03)6214-1090
〒541-0048 大阪市中央区瓦町 2 丁目 5 番 1 号 (06)6231-1672
〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2 丁目 22 番 3 号 (092)414-9361
《URL; http://www.kanto.co.jp/, e-mail; reag-info@gms.kanto.co.jp》